

わが町八戸より耳寄り情報です！

八戸港のすぐそばにJR陸奥湊駅がございます。毎年10月に、この駅前で「イサバのカッチャコンテスト」が開かれます。地元の人なら知らない人がいない程、大人気のイベントで、とっても小さな駅ですが、イベント時は大変な大賑わいで、噂を聞いた他県の方も含めて大勢の人たちでごった返します。

このコンテストは、ネッカチーフを頭にかぶりエプロンと長靴を身につけ、「いがったらかわいい！」の決め台詞で、どれだけ魚売りのおばちゃんになりきっているかを競います。

「いがったらかわいい！」とは、「よかったら買ってください」という意味で、お魚の「イカ・タラ・カレイ」と掛けてあります。このコンテストは、老若男女問わず参加できるので、小さな男の子がほっぺを赤く塗り、自分の体よりも大きい背負いかごを背負って、参加してくれたこともありました。

司会進行の八戸出身のタレント、十日市 秀悦(とおかいち しゅうえつ)さんとのトークも審査基準となります。スリーサイズが100・100・100との十日市さんがカッチャに扮して声高々に出場者の方々と話しているのを見てると、おもしろくておもしろくて、会場では笑いが絶えません。

以上、八戸をより一層、楽しみたい方への耳寄りな情報を、お伝えいたしました。

(村木)

・イサバのカッチャ像



わが町のや便り

第24号
平成20年10月

菊の季節となりました。



・もってのほか・

奈良時代に薬草として中国から伝わったとされる『菊』、その花びらを食べる習慣は江戸時代から始まったといわれています。

食用菊の旬は「菊月」の別名を持つ9月から11月頃まで。

八戸では黄色の阿坊宮が主ですが、最近ではピンク色の「もってのほか」と呼ばれるものも見かけるようになりました。

摘んだ花びらを、酢と塩をいれたたっぷりの熱湯でサッとゆがき、冷水にさらした後に水気をとります。そのきれいな彩りを生かしておひたしやゴマ和え、酢の物、味噌汁、お寿司の具などいろいろな食べ方ができます。

また、リラックス効果が高く、毎日食べ続けると悪玉コレステロールや高血圧予防にも効果があるとされています。

からだがかきれいになるようなほのかな香り、ほろ苦さとさわやかな甘み、しゃきしゃきとした食感が楽しめる菊料理で、実りの秋の食卓を一段と風雅に飾ってみてはいかがでしょうか。

(利野)

萬七沼(つたななぬま)

八甲田連邦の南側の広葉樹の森に七つの沼があります。

薦沼、鏡沼、月沼、長沼、菅沼、ひょうたん沼、赤沼と呼ばれ、秋になると、黄色や真っ赤に染まった山が沼の水面に映り、とても幻想的で美しく、まるで絵画のような景色が広がっています。

約1時間ほどで6つの沼めぐりのできる遊歩道があり、静かなブナ原生林のなかを森林浴をしながらの散策はとても癒されます。

私も子供たちが幼い頃に行ってきましたが、赤い葉っぱ・黄色い葉っぱの森を鏡のように映す大きい沼、小さい沼を見てはきれいだねと感激し、ブナの大きな幹に耳をくっつけたり、木の実を拾いながら、みんな大喜びで歩いていました。



・赤沼・

近くには、湯船の底から源泉が湧きあがる薦温泉がありますので、紅葉を満喫したあと、軽く汗を流してはいかがでしょうか。

(橋本)

・イラスト・東・

《お客様のお声をお聞かせください》

この紙面や八戸情報に対するお便りの他、「〇〇〇おいしかったよ。」「こんな食べ方が美味しい」といった商品に対するお便りなど、なんでも結構です。お寄せいただいたお客様の喜びの声、ご意見を元に、商品やサービスの向上に反映させていきたいと思っております。

* 今後、味の加久の屋からの情報をご不要という方は、お手数でも、同封の返信用封筒にお客様のご住所、お名前の部分をお入れになり、ご返送ください。